

『めくって学べる てんきのしくみ図鑑』

川崎市立子母口小学校六年

安齋

統真

あんざい

とうま

上を向けば当たり前にある空。その空ではどんなことが起きていくか知っていますか？なぜ夕方になると暗くなるの？台風はどうやって発生するの？なぜゲリラごう雨は起きるの？身近なことだけど、分からないことだらけです。この本は、そんな分からないことを楽しく分かりやすく教えてくれます。

まず、たくさんのめくるしかけがあります。めくる部分には「どうなるの？」「何が起きるの？」と疑問があって、しかけをめくると、絵と解説がかかれています。クイズのように、しかけをめくる前に答えを自分で予想しながら読むのも楽しいです。その後、解説を読むと「へえーそうなんだ」と納得したり、「すごい!! 知らなかった!!」とおどろきます。また、簡単にできる実験もたくさんあって、やってみました。水てきが大きくなってポタリと落ちたしゆん間「これが雨か!!」とうれしくなりました。自然現象を自分で再現できたことで、よりしくみが分かりやすくなりました。

天気のしくみを知ることでいつも見ている「何気ない空」も、自然によってつくられていたり「意味のある空」なんだと見る目が変わりました。みなさんもこの本を読んで当たり前にある空の見え方を変えてみませんか？